



園地の病害虫の発生状況をよく確認し、適切な防除を行いましょ。

また薬剤は丁寧にたっぷりと散布しましょ。

病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意して下さい。

共通注意事項

- 1.隣接園(特に今後収穫期を迎える作物)に飛散しないよう十分注意して下さい
- 2.散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行い、薬液が残らないよう注意する。

●9月上旬の散布(着色開始期前)

散布薬剤	水	100ℓ	散布日 9月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10ml	
	劇)モスピラン顆粒水溶剤	25g	(前日、3回)
	キノド一顆粒水和剤	100g	(14日前、5回)
対象病害虫	炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、カキノヒメヨコバイ、カキノヘタムシガ、カメムシ類、カイガラムシ類		
散布量	10a当り 500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する。		
備考	① 果実全体に薬液がよくかかるよう散布する。 ② モスピラン顆粒水溶剤は劇物登録農薬です。 農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際には、印鑑をご持参下さい。		

●特別散布

散布時期	: 10月上中旬 (水 100ℓあたり)	散布日	10月 日
		散布量	ℓ
散布農薬	: 展着剤 10ml トップジンM水和剤 100g (前日、6回)		
対象病害虫	: うどんこ病 炭疽病		
注意事項	: 条紋から発生する裂果・ヒビ割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。条紋多発園で散布する。		

今回の特報で今年の柿特報は最終となります。
次回からは柿情報となります。